



「2018 海域港湾空港技術報告会 in 福岡」を開催

概要

九州地方整備局港湾空港部と九州大学大学院工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門は、海域港湾空港技術に関する関係者間の情報共有を図り、課題解決に向けた今後の更なる技術開発促進の一助とするため、「2018 海域港湾空港技術報告会 in 福岡」を平成30年2月19日(月)を開催します。

背景

海域・港湾・空港を取り巻く様々な課題解決に向けて、近年、民間企業、大学、国など産学官の協働による技術開発が全国各地で活発に行われています。

今般、全国的に高い評価を得ている最先端の技術開発の現状や、九州・下関地区で取り組まれている最新の技術情報等を関係者間で広くかつタイムリーに共有することにより、その課題解決に向けた技術開発の促進に寄与するため、「2018 海域港湾空港技術報告会 in 福岡」を下記のとおり開催することといたしました。

内容

「2018 海域港湾空港技術報告会 in 福岡」

- ・日時：平成30年2月19日(月) 13:15 ～ 17:50 (12:45 開場)
- ・場所：ホテルセントラータ博多 3階「花筐の間」
福岡市博多区博多駅中央街4-23 TEL：092-461-0111
- ・主催：九州地方整備局港湾空港部
九州大学大学院工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門
- ・プログラム：別紙のとおり

※ 当日の取材を希望される方は、取材申込書(別紙)に必要事項を記載の上、2月16日(金)12時までに九州地方整備局港湾空港部海洋環境・技術課あて FAXにてお申し込み下さい。

詳細は別紙「取材要領」をご覧ください。

<お問い合わせ先>

大学院工学研究院 教授 中川 康之

電話：092-802-3398

FAX：092-802-3398

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 課長 有江 浩一

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 課長補佐 藤井 寧

電話：092-418-3380

FAX：092-418-3032

【本件担当】

九州大学広報室

電話：092-802-2130

FAX：092-802-2139

E-mail：koho@jimu.kyushu-u.ac.jp

【記者発表資料】
平成30年2月13日
九州地方整備局

「2018 海域港湾空港技術報告会 in 福岡」の開催

九州地方整備局では、海域・港湾・空港を取り巻く様々な課題解決に向けて、民間企業、大学などと産学官の協働による技術開発を行っているところです。

今般、全国的に高い評価を得ている最先端の技術開発の現状や九州・下関地区で取り組まれている最新の技術情報等を関係者間で広くかつタイムリーに共有することにより、課題解決に向けた技術開発の促進に寄与するため、九州大学との共催により「2018 海域港湾空港技術報告会 in 福岡」を下記のとおり開催することといたしました。

なお、本技術報告会は(公社)地盤工学会のCPDプログラム認定を受けております。

記

日 時 平成30年2月19日(月) 13:15～17:50 (12:45 開場)

場 所 ホテルセンターザ博多 3階「花筐の間」
福岡市博多区博多駅中央街4-23
TEL: 092-461-0111

主 催 九州地方整備局 港湾空港部
九州大学大学院 工学研究院 海域港湾環境防災共同研究部門

プログラム 別添のとおり

当日の取材を希望される方は、取材申込書「別紙1」に必要事項を記載の上、2月16日(金)12時までにお申し込み下さい。

詳細は取材要領「別紙2」をご覧下さい。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 課長 有江 浩一
課長補佐 藤井 寧

TEL: 092-418-3380 FAX: 092-418-3032

2018 海域港湾空港技術報告会 in 福岡

海域・港湾・空港を取り巻く様々な課題解決に向けて、近年、民間企業、大学、国など産官学の協働による技術開発が全国各地で活発に行われています。本報告会は全国的に高い評価を得ている最先端の技術開発の現状や九州・下関地区で取り組まれている最新の技術情報等を関係者間で広くかつタイムリーに共有することで、課題解決に向けた技術開発の促進に寄与することを目的として開催するものです。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

博多港アイランドシティ・コンテナターミナル

Photo by S.Imabayashi

日時 2018年2月19日(月) 13:15~17:50 (12:45開場)

場所 ホテルセントラータ博多 3階「花筐の間」

福岡市博多区博多駅中央街4-23 TEL : 092-461-0111



主催：九州地方整備局港湾空港部、九州大学大学院工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門

共催：(公社)地盤工学会九州支部、九州大学学術研究・産学官連携本部、(一財)沿岸技術研究センター、(一財)港湾空港総合技術センター、特定非営利活動法人研究機構ジオセーフ、博多港ふ頭(株)、(一社)日本埋立浚渫協会、(一社)港湾技術コンサルタントツ協会、九州港湾空港建設協会連合会

地盤工学会 CPD プログラム

問い合わせ先

国土交通省九州地方整備局港湾空港部 海洋環境・技術課 (担当：有江、藤井)

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目10-7 福岡第二合同庁舎

TEL 092(418)3380 FAX 092(418)3032

2018 海域港湾空港技術報告会 in 福岡

プログラム

開会あいさつ

13:15～13:25 村岡 猛(九州地方整備局 副局長)

第Ⅰ部 基調講演

13:25～14:00 最近の土質調査について

善 功企(九州大学大学院 工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門 特任教授)

第Ⅱ部 全国の先進的土木技術の紹介

14:00～14:25 津波浸透力の効果を考慮した防波堤腹付工の設計および施工技術

<平成28年度地盤工学会技術開発賞受賞>

佐々 真志(国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所

地盤研究領域 動土質研究グループ長)

～ 質疑応答および休憩 ～

第Ⅲ部 産官学の技術展望

14:45～15:05 産官学による共同研究の取り組みについて

中川 康之(九州大学大学院 工学研究院 海域港湾環境防災共同研究部門 教授)

15:05～15:25 指宿港海岸における温泉地下水の現況把握に関する取り組み

三宅 崇智((一社)港湾技術コンサルタンツ協会推薦:株式会社エコー事業本部

環境系事業部 沿岸環境部 主任技師)

15:25～15:45 京浜港ドックを活用した「重力式係船岸増深工法の適用に関する実証実験」

和田 真郷((一社)日本埋立浚渫協会九州支部推薦:東洋建設(株) 土木事業本部

土木技術部長)

15:45～16:05 浚渫工における ICT 施工について(関門地区浚渫工事)

清水 孝輔(九州港湾空港建設協会連合会推薦:若松港湾工業株式会社 工事係長)

～ 質疑応答および休憩 ～

16:25～16:45 グローバルポートネットワークへの挑戦 ～ 博多港物流ITシステム HiTS ～

木本 浩(博多港ふ頭(株) 事業企画部 営業課長)

16:45～17:05 船上運用型無人飛行体の開発について

島添 秀行(九州地方整備局 下関港湾空港技術調査事務所 建設管理官)

17:05～17:25 コンクリート構造物の新しいモニタリングの提案

濱田 秀則(九州大学大学院 工学研究院 社会基盤部門 教授)

17:25～17:45 高圧脱水固化処理装置による浚渫土の有効利用について

笠間 清伸(九州大学大学院 工学研究院 社会基盤部門 准教授)

閉会あいさつ

17:45～17:50 江頭 和彦(NPO 法人研究機構ジオセーフ 監事)